

令和7年度 福山平成大学「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」  
自己点検・評価報告書

令和8年3月31日

福山平成大学 大学教育センター数理・データサイエンス・AI 教育部門

本学においては、令和4年度より「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」を全学的に実施している。当該プログラムは、令和5年度に文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」として認定された。認定要件の1つである「毎年度自己点検・評価の実施」に従い、本年度の自己点検・評価の結果を報告する。なお、評価項目は文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」実施要綱細目の内容に則している。

◇ 評価体制

大学教育センター数理・データサイエンス・AI 教育部門は、福山平成大学における数理、データサイエンス及びAI 教育分野の教育課程の実施を通して、当該分野における基礎的能力を具備する人材育成のための教育に係る全学的な方針を企画立案及び推進するとともに、数理・データサイエンス・AI 教育に係る全学的なプログラムの PDCA サイクルを確立し、もって本学の教育研究の発展及び学修の充実に資することを目的としている(部門長：教育担当学長補佐)。

◇ 自己点検・評価内容

(1) 学内からの視点

●点検・評価の対象科目

【一般教育科目】「情報リテラシーA」(必修)、「情報リテラシーB」(必修)、「データサイエンス入門」(必修)、「データ科学のための数理統計」(選択必修)、「人工知能概論」(選択必修)、「データサイエンス応用」(選択必修)、「データリテラシー」(選択必修)、「プログラミング入門A」(選択必修)、「プログラミング入門B」(選択必修)の9科目。

【専門教育科目】「ICT 入門(経営学科)」(学科必修)、「社会福祉調査の基礎(福祉学科)」(学科必修)、「ICT 活用の理論と実践(こども学科)」(学科必修)、「健康スポーツ情報処理演習(健康スポーツ科学科)」(学科必修)、「保健統計論I(看護学科)」及び「保健統計論II(看護学科)」(学科必修)の6科目。

●教育プログラムの履修・習得状況、学修成果に関する事項

\*本プログラム開設科目の履修者・修了者の状況は以下の通りである。

【一般教育科目】

No.	科目名	入学定員	収容定員	R4		R5		R6		R7		履修者数合計				履修率			
				履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7
1	情報リテラシーA	340	1,360	275	273	297	294	284	274	304	298	275	297	284	304	20%	22%	21%	22%
2	情報リテラシーB	340	1,360	275	272	298	290	290	274	305	291	275	298	290	305	20%	22%	21%	22%
3	データサイエンス入門	340	1,360	275	271	297	295	286	271	307	292	275	297	286	307	20%	22%	21%	23%
4	データ科学のための数理統計	340	1,360	-	-	63	63	57	54	96	89	-	63	57	96	-	5%	4%	7%
5	人工知能概論	340	1,360	-	-	21	21	15	14	7	7	-	21	14	7	-	2%	1%	1%
6	データサイエンス応用	340	1,360	-	-	132	128	102	99	59	54	-	132	102	59	-	10%	7%	4%
7	データリテラシー	340	1,360	-	-	1	1	13	10	14	12	-	1	13	14	-	0.1%	1%	1%
8	プログラミング入門A	340	1,360	-	-	49	49	112	101	85	81	-	49	112	85	-	4%	8%	6%
9	プログラミング入門B	340	1,360	-	-	18	17	7	6	12	9	-	18	7	12	-	1%	1%	1%

【専門教育科目】

No.	科目名	入学定員	収容定員	R4		R5		R6		R7		履修者数合計				履修率			
				履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7
1	ICT 入門	50	200	36	36	61	61	45	44	47	47	36	61	45	47	18%	31%	23%	24%
2	社会福祉調査の基礎	60	240	-	-	18	18	14	14	14	14	-	18	14	14	-	8%	6%	6%
3	ICT 活用の理論と実践	50	200	-	-	45	45	42	42	35	35	-	45	42	35	-	23%	21%	18%
4	健康スポーツ情報処理演習	100	400	-	-	83	76	100	89	101	94	-	83	100	101	-	21%	25%	25%
5	保健統計論 I	80	320	-	-	82	81	76	74	67	67	-	82	76	67	-	26%	24%	21%
6	保健統計論 II	80	320	-	-	83	82	76	74	66	66	-	83	76	66	-	26%	24%	21%

《令和7年度の履修者数・修了者数の状況》

【一般教育科目】

1)情報リテラシーA

履修者数 304名

内訳 経営学科：48名、福祉学科：17名、こども学科：60名、健康スポーツ科学科：104名、看護学科：75名

修了者数 298名

内訳 経営学科：47名、福祉学科：17名、こども学科：60名、健康スポーツ科学科：100名、看護学科：74名

2)情報リテラシーB

履修者数 305名

内訳 経営学科：47名、福祉学科：17名、こども学科：60名、健康スポーツ科学科：105名、看護学科：76名

修了者数 291名

内訳 経営学科：47名、福祉学科：17名、こども学科：59名、健康スポーツ科学科：97名、看護学科：71名

3)データサイエンス入門

履修者数 307名

内訳 経営学科：47名、福祉学科：17名、こども学科：61名、健康スポーツ科学科：106名、看護学科：76名

修了者数 292名

内訳 経営学科：47名、福祉学科：17名、こども学科：61名、健康スポーツ科学科：97名、看護学科：70名

4)データ科学のための数理統計

履修者数 96名

内訳 経営学科：26名、福祉学科：1名、こども学科：0名、健康スポーツ科学科：69名、看護学科：0名

修了者数 89名

内訳 経営学科：22名、福祉学科：1名、こども学科：0名、健康スポーツ科学科：66名、看護学科：0名

5)人工知能概論

履修者数 7名

内訳 経営学科：0名、福祉学科：0名、こども学科：0名、健康スポーツ科学科：7名、看護学科：0名  
修了者数 7名

内訳 経営学科：0名、福祉学科：0名、こども学科：0名、健康スポーツ科学科：7名、看護学科：0名

#### 6)データサイエンス応用

履修者数 59名

内訳 経営学科：7名、福祉学科：0名、こども学科：20名、健康スポーツ科学科：16名、看護学科：16名  
修了者数 54名

内訳 経営学科：7名、福祉学科：0名、こども学科：19名、健康スポーツ科学科：12名、看護学科：16名

#### 7)データリテラシー

履修者数 14名

内訳 経営学科：0名、福祉学科：6名、こども学科：0名、健康スポーツ科学科：8名、看護学科：0名  
修了者数 12名

内訳 経営学科：0名、福祉学科：6名、こども学科：0名、健康スポーツ科学科：6名、看護学科：0名

#### 8)プログラミング入門A

履修者数 85名

内訳 経営学科：15名、福祉学科：22名、こども学科：2名、健康スポーツ科学科：0名、看護学科：46名  
修了者数 81名

内訳 経営学科：14名、福祉学科：19名、こども学科：2名、健康スポーツ科学科：0名、看護学科：46名

#### 9)プログラミング入門B

履修者数 12名

内訳 経営学科：1名、福祉学科：0名、こども学科：0名、健康スポーツ科学科：0名、看護学科：11名  
修了者数 9名

内訳 経営学科：0名、福祉学科：0名、こども学科：0名、健康スポーツ科学科：0名、看護学科：9名

【専門教育科目】

1)ICT 入門

履修者数 47 名

内訳 経営学科：47 名

修了者数 47 名

内訳 経営学科：47 名

2)社会福祉調査の基礎

履修者数 14 名

内訳 福祉学科：14 名

修了者数 14 名

内訳 福祉学科：14 名

3)ICT 活用の理論と実践

履修者数 35 名

内訳 こども学科：35 名

修了者数 35 名

内訳 こども学科：35 名

4)健康スポーツ情報処理演習

履修者数 101 名

内訳 健康スポーツ科学科：101 名

修了者数 94 名

内訳 健康スポーツ科学科：94 名

5)保健統計論 I

履修者数 67 名

内訳 看護学科：67 名

修了者数 67名

内訳 看護学科：67名

#### 6)保健統計論II

履修者数 66名

内訳 看護学科：66名

修了者数 66名

内訳 看護学科：66名

#### ●履修率（履修者数／収容定員数）

履修率に関して、令和4年度の実績は全学科対象科目(一般教育科目)の必修科目については20%、経営学科専門教育科目については18%であったが、令和5年度は、全学科対象科目(一般教育科目)の必修科目については22%、全学科対象科目(一般教育科目)の選択必修科目については4%、そして各学科専門教育科目については経営学科31%、福祉学科8%、こども学科23%、健康スポーツ科学科21%、看護学科26%、令和6年度は、全学科対象科目(一般教育科目)の必修科目については21%、全学科対象科目(一般教育科目)の選択必修科目については4%、そして各学科専門教育科目については経営学科23%、福祉学科6%、こども学科21%、健康スポーツ科学科25%、看護学科24%と着実に推移し、プログラム開講から4年目となる令和7年度の実績は、全学科対象科目(一般教育科目)の必修科目については23%、全学科対象科目(一般教育科目)の選択必修科目については3%、そして各学科専門教育科目については経営学科24%、福祉学科6%、こども学科18%、健康スポーツ科学科25%、看護学科21%であった。以上のように、履修率については、当初の計画通り着実に向上している。

#### ●授業評価アンケート

福山平成大学FD推進委員会では、授業評価アンケートを実施し、その結果をもとに学生の学習動機や学修成果を把握し、FD活動に活用することとしている。令和7年度の関係科目に関するアンケート結果は以下の通りである。

質問は、以下の3つである。

Q2. 受講にあたって、学習到達目標や注意事項などの説明・指導は適切だった

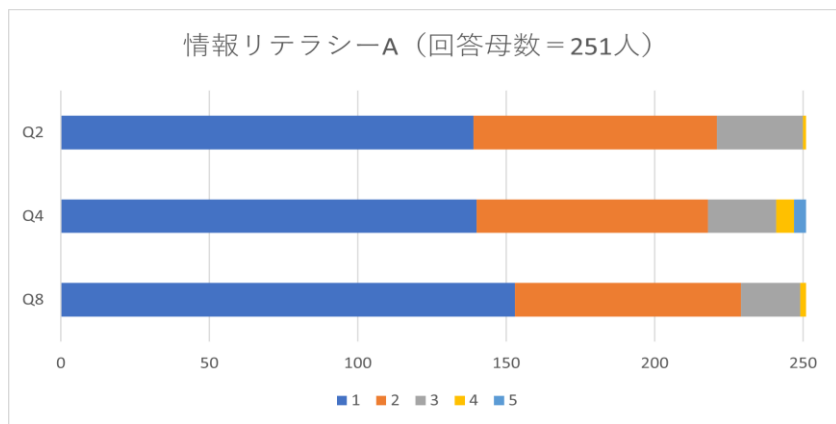
Q4. 教員の説明・指導は、わかりやすかった

Q8. この授業は、有意義だった

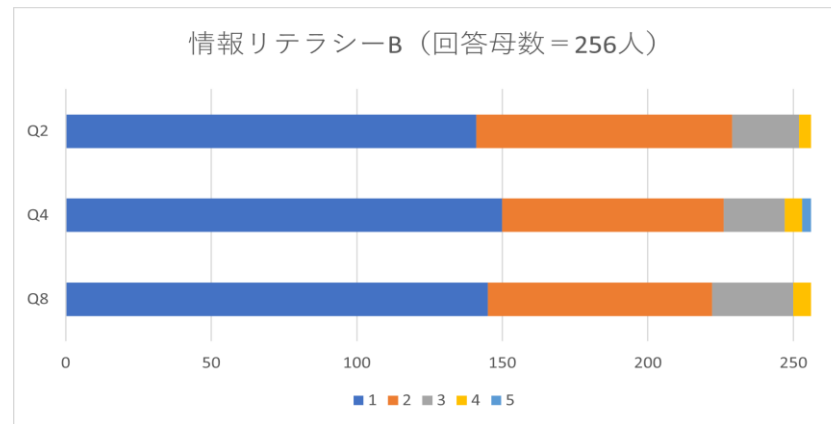
回答は、「1. よくあてはまる」「2. ややあてはまる」「3. どちらでもない」「4. あまりあてはまらない」「5. 全くあてはまらない」の5段階である。以下に科目毎の各質問に対する回答数（横軸）を示す。

【一般教育科目】

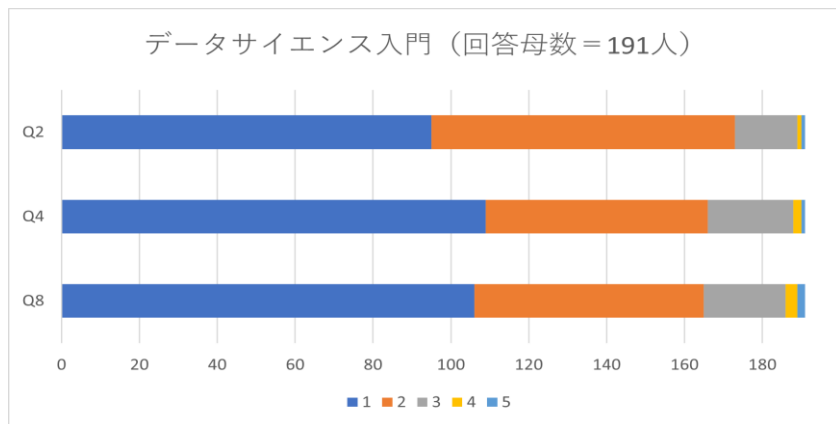
1) 「情報リテラシーA」



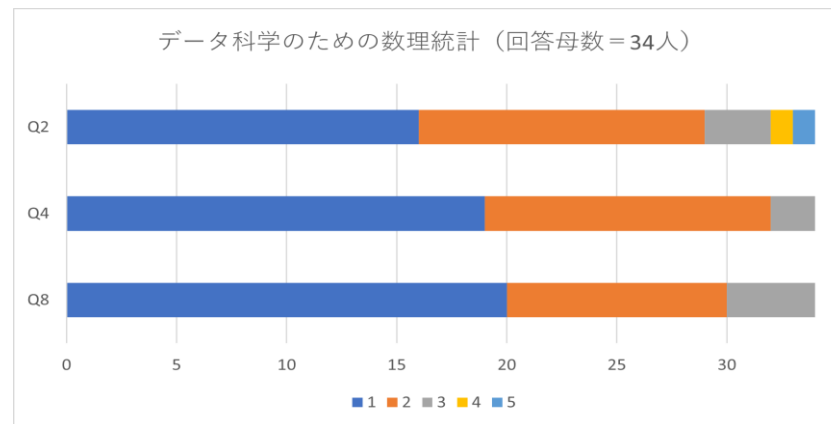
2) 「情報リテラシーB」



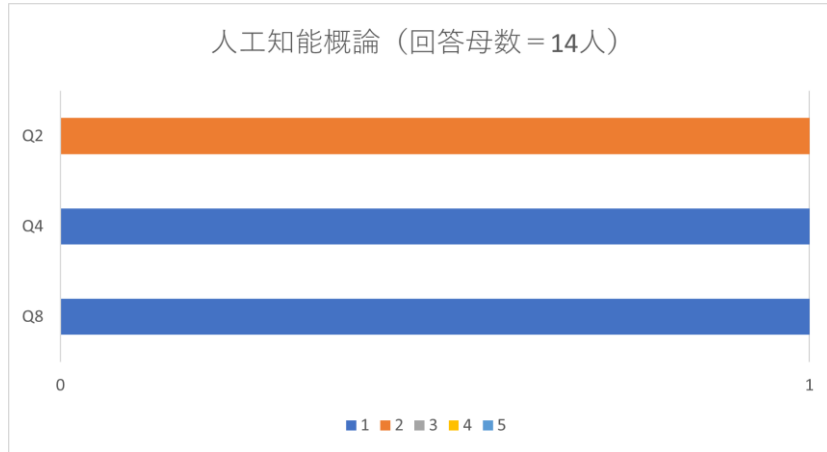
3) 「データサイエンス入門」



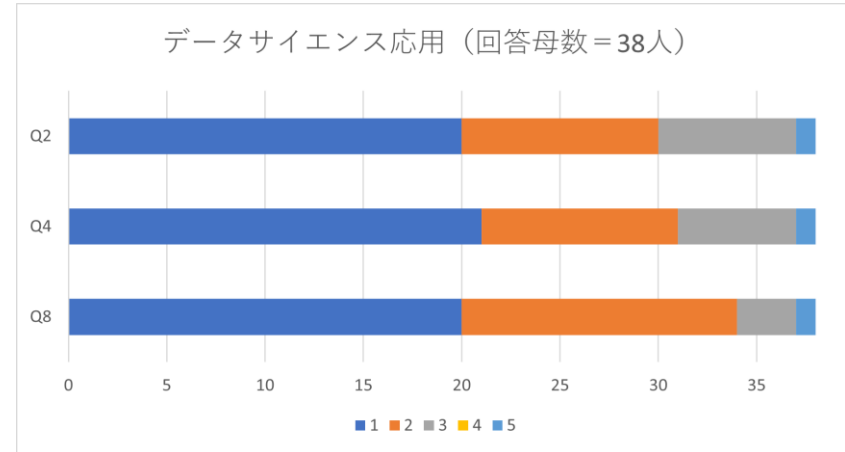
4) 「データ科学のための数理統計」



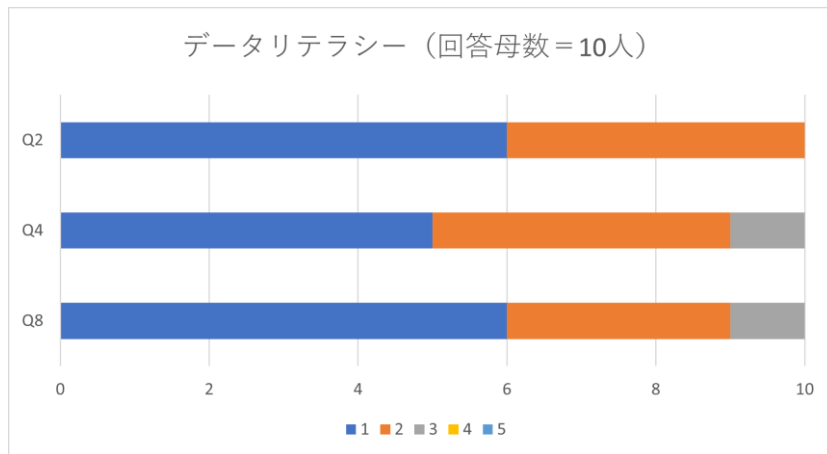
5) 「人工知能概論」



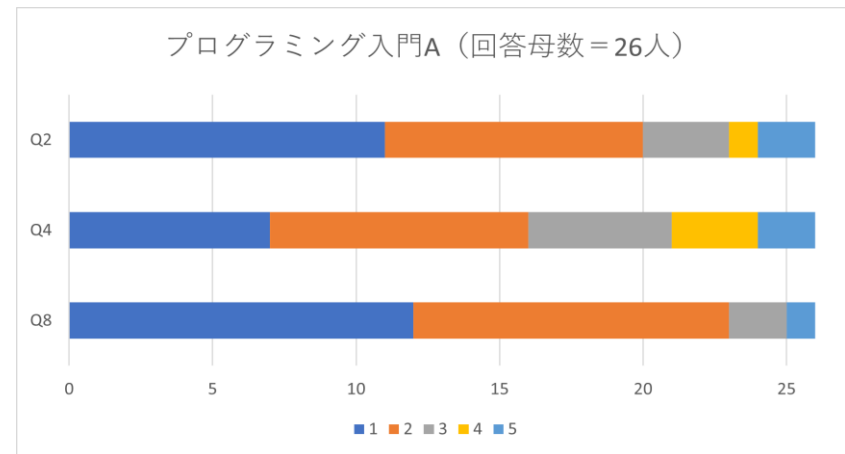
6) 「データサイエンス応用」



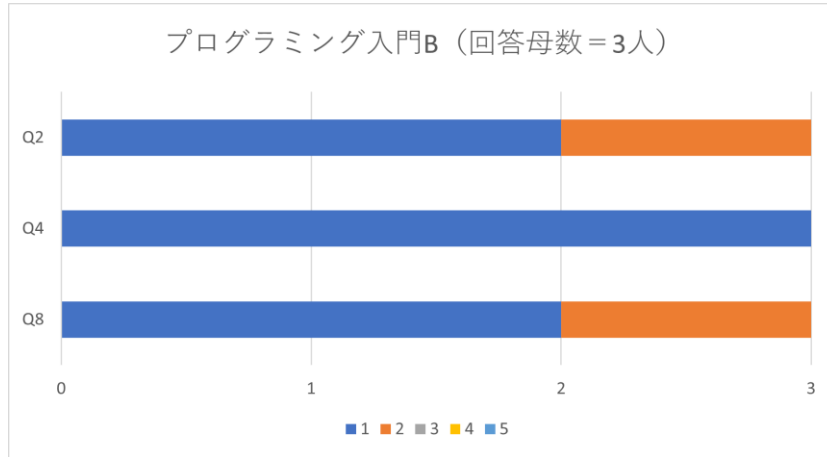
7) 「データリテラシー」



8) 「プログラミング入門A」

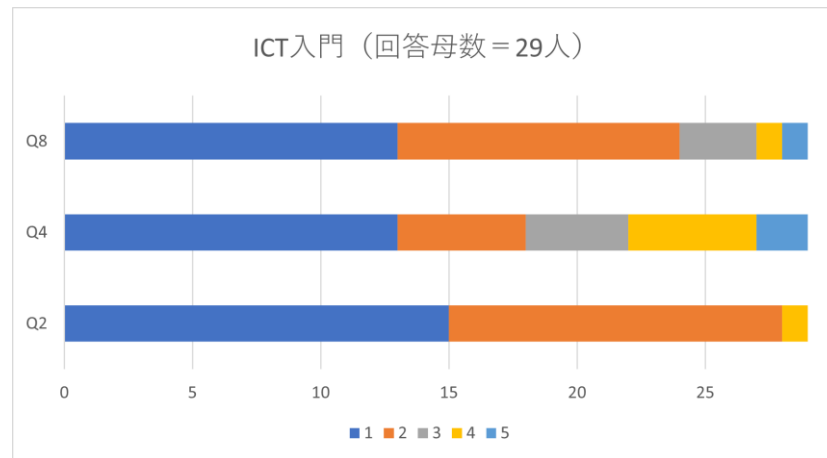


9) 「プログラミング入門B」

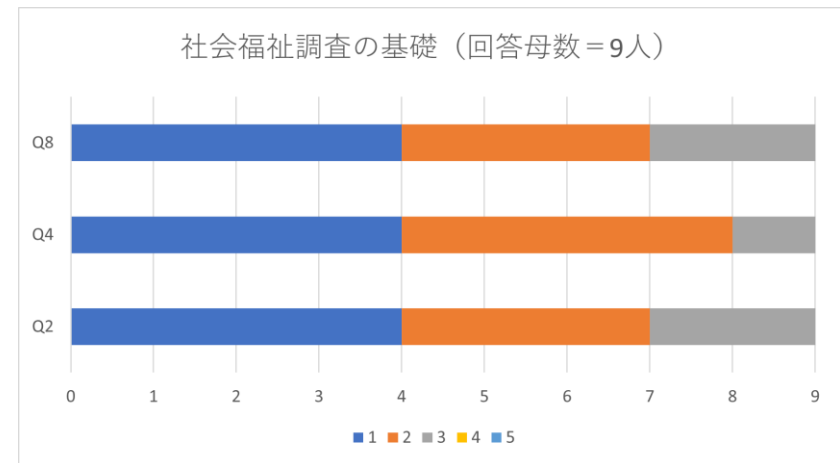


【専門教育科目】

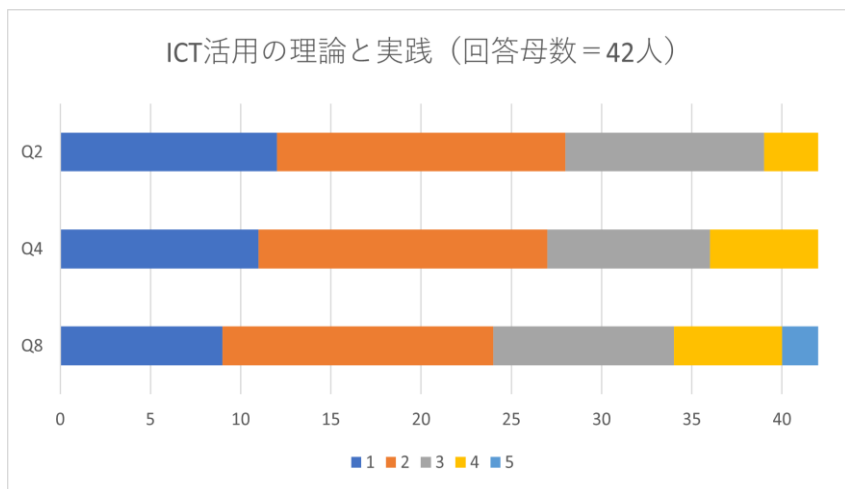
1) 「ICT 入門 (経営学科)」



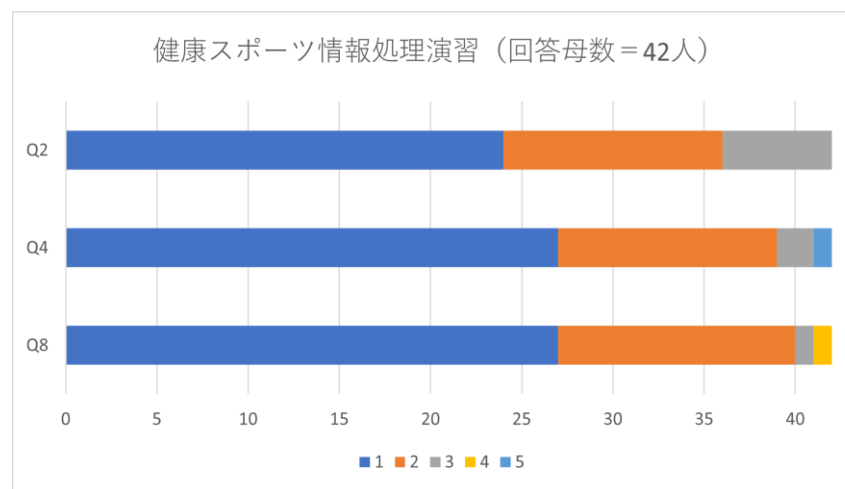
2) 「社会福祉調査の基礎」(福祉学科)



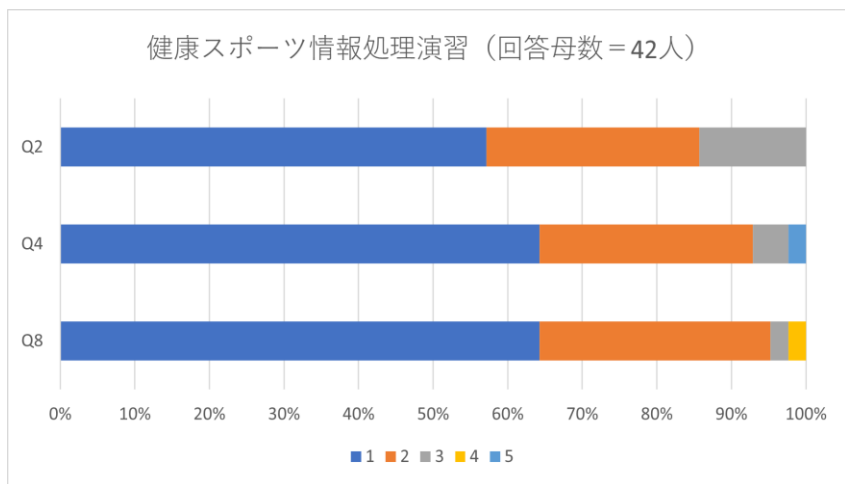
3) 「ICT 活用の理論と実践」(こども学科)



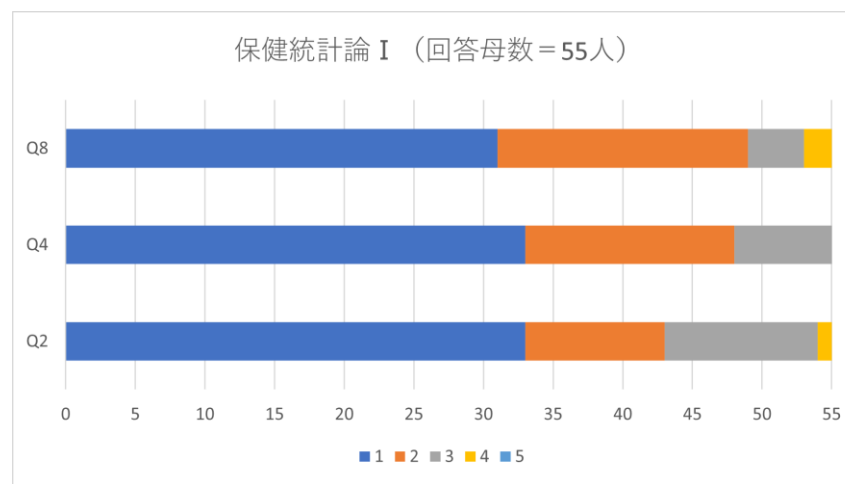
4-1) 「健康スポーツ情報処理演習」(健康スポーツ科学科) [前期]



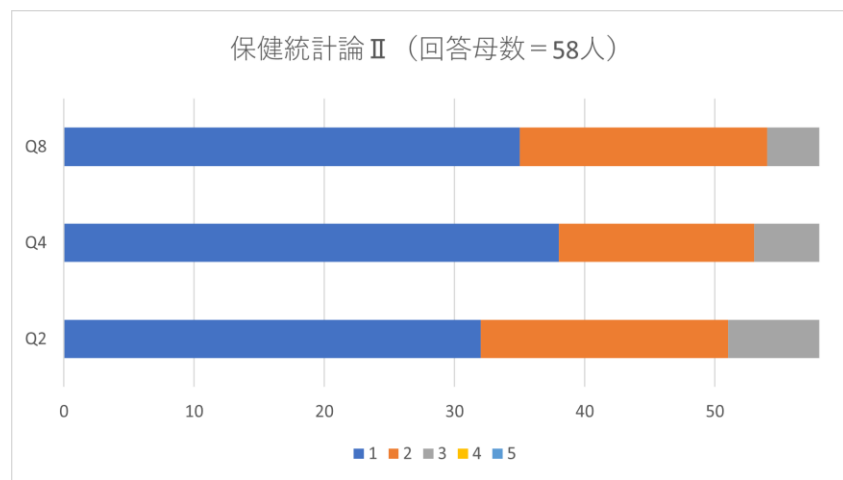
4-2) 「健康スポーツ情報処理演習」(健康スポーツ科学科) [後期]



5) 「保健統計論 I」(看護学科)



## 5) 「保健統計論Ⅱ」(看護学科)



本集計結果より、授業評価アンケートが実施された科目は「1. よくあてはまる」「2. ややあてはまる」の比率が科目間において多寡はあるものの、全体的に評価が高く、一般教育科目群及び専門教育科目群とも数理・データサイエンス・AI教育にとって適切な授業が実施されていると言える。

### ●評価結果

既述の通り、R5年度より一般教育科目である「データ科学のための数理統計」、「人工知能概論」、「データサイエンス応用」、「データリテラシー」、「プログラミング入門A」、「プログラミング入門B」、さらには専門教育科目である「社会福祉調査の基礎」(福祉学科)、「ICT活用の理論と実践」(こども学科)、「健康スポーツ情報処理演習」(健康スポーツ科学科)、「保健統計論Ⅰ」及び「保健統計論Ⅱ」(看護学科)もR6年度より新たに開設され、プログラムの本格的な運用が始まった。

教育プログラムの履修・習得状況、学修成果に関しては、一般教育科目中の選択必修科目6科目間において履修者数に差はあるものの、履修状況のデータから4年目の取り組みも昨年同様総じて順調に行われている。また、授業評価アンケートの結果からは、開設全科目(アンケート未対象科目を除き)の評価は概ね好評であり、福山平成大学での数理・データサイエンス・AI教育プログラムは「学生目線」からも順調に実施されていると判断できる。次年度以降も本プログラム全体の円滑で効果的な実施に鋭意取り組みたい。

## (2) 学外からの視点

本教育プログラムの実施においては、全学必修科目を全学生対象に設置している。必修科目の修了率は95%を超えている。一般教育科目と各学科の専門教育科目を組み合わせることで、全学生共通のリテラシー教育と分野固有の内容の両方を実現している。自己点検評価は継続的に実施されている。以上が本プログラム運営上の優れた点である。

本プログラムの運営において、PDCA サイクルの確立を目的とした部門を設置し、組織的な自己点検の仕組みを構築している。評価報告書における自己点検は、一般教育科目と専門教育科目について網羅的に実施されている。履修者数・修了者数を年度別に整理しており、経年的な推移の把握が可能である。授業評価アンケートでは、Q2（目標説明の適切性）、Q4（説明のわかりやすさ）、Q8（授業の有意義性）を用いて学生視点での評価を行っている。以上が、自己点検評価に関する外部評価者としての評価である。

報告書に「履修率については、当初の計画通り着実に向上している」とある。必修科目（一般教育）の履修率はR4（20%）→R7（23%）、健康スポーツ科学科の専門教育科目はR5（21%）→R7（25%）と向上している。一方、こども学科の専門教育科目はR5（23%）→R7（18%）、看護学科の専門教育科目はR5（26%）→R7（21%）、データサイエンス応用はR5（10%）→R7（4%）、人工知能概論の履修者数はR5（21名）→R7（7名）と推移している。科目群により傾向が異なることから、今後は履修率の推移に加え、各科目の教育目標に照らした学修成果や、科目間の役割分担と連携の観点からも分析を行うことで、プログラム全体の評価がより充実したものになると考える。

### **【総括評価結果】**

外部評価者からは、本プログラムが概ね良好に推移している旨の評価を頂くとともに、検討すべき適切な事項についても指摘を受けた。指摘された「教育目標に照らした学修成果」や、「科目間の役割分担と連携」の観点からのプログラムの精査を進め、今後の改善を図りたい。